

わせたん失恋部2

わせたんの学期末の酒の席で、「なにを詠んでも失恋になっちゃう時あるよね」と盛り上がり、勢いで発足しました。内容はフィクションかもしれませんが。好評につき第二弾です。

夏の王

尾崎秋南

Möbius strip

染川嚙実

シャーベットの溶ける速度で早回しすればひとつの像で済む夏
半袖の腕が外気と交わったときの慄き かるやかな羽化
内面の屈折で輝くとしたらわたしたちきつと綺麗な蛍ね
ライチ剥くその指を食む 万人に望まれ万人に尽くす指
汗をかく生き物なのか クーラーを初めてつけた日を忘れない
溺ればすぐに小舟が与えられ「一人で漕いで漂いなさい」
己のみを統べる王の歴史とはたくさんシーグラスの岸辺
行くことのない島のこと話すたび呻くグラスのなかの流水
泣いているようにみえる、と拭われたスカイブルーの粉、または涙
王国の終わりのような微睡みのなか口ずさむ「新世界より」

坂と影

加賀塔子

燐の燃ゆる香

高良真実

また愛を得ざりし身かな灼熱の地に水撒けど撒けど変はらず
愛されたことなく坂を登りゆく炎天に焼くわが影法師
わが恋も捨て置かむかな彼よりも背高き墓の表面みがく
土まみれの影を引きずり帰る道とはひとりで生きるほかなし
現し世にこの身ある意味わからずに今日も厨に包丁にぎる
わが道を大きく曲げる鐘の声かもしれない鈴響きたり
まだ声を知らざるひととわれの間に留め石のごと水羊羹置く
はつ夏の水面のやうな羊羹のおもてに写る青菜のかけよ
外行けばいまだ昼なり人の背に草葉ひとつが貼りつみてをり
夏座敷掃かむと立てばふれられしことなき胸より菊の匂ひす

擦るといふよりも弾きて火をつくる歳上の燐す派の魔術師め
“平和”てふ煙草へ幾度口付けて互みにやぶられぬ沈黙よ
「遊びでは付き合へぬ」とぞ 下の名を誤読せるまま愛告げにけり
まじはらぬままに共寝してくれる優しさくるし甘噛みくるし
体感のきのふとけふの境目のまぐわい スノードームに吹雪
恋人となるには若く十字架のかたちの歳の差を恨みをり
骨と骨ぶつかるほどに抱きあへば間隙に咲く星空ありき
くちづけのまへには皮膚をなであぐるあなたは夜目が利かずわたしも
「良き人がみつかるなどと言へぬよな」ほほゑみよはく後朝の雨
前髪を煙草の先に焦がし切るひととき人は変はるものかは
眼鏡との狭間に対流する煙鋭く しばし甘き夢なむ
しゅつといふちひさき蛇の音たてて煙草消したり愛を識ること

寄稿者（五十音順）

○ 尾崎秋南(おぎき あきな)

○ 早稲田短歌会所属。VELOCEの生チョコケーキは3個食べられる。

○ 加賀塔子(かが とろこ) Twitter: @gw_fk

○ 早稲田短歌会、かりんに所属。チョコレートはメリーが好きです。でも正直ガーナと変わらない気がします。

○ 関 寧花(せき ねいか)

○ 早稲田短歌会、短歌同人「ぬばたま」所属。今回は欠詠。

○ 染川嚙実(そめかわ つぐみ)

○ 早稲田短歌会所属。リンツのイースターバニーの大きいのが理想の極です。

○ 高良真実(たから まみ) Twitter: @nukimaru

○ 早稲田短歌会所属。早生まれ。前号に続き編集人。チョコミン党穏健派。右回転90度です。背景で遊びました。